# 3ドア15両 復活! 湘南色は不滅。

KATO PRECISION RAILROAD MODELS

## 湘南新宿ラインの開業で、横須賀線に蘇った3ドア編成。

小山車両センターの115系1000番台とその仲間たち

115系は、昭和52年(1977)、上越線・信越線・篠ノ井線など寒冷地の旧形電車置き換え用として登場。東北線・高崎線向けに投入された車両は新製時より冷房装置を搭載しており、接客サービスの向上にも貢献しました。7両の基本編成と4両の付属編成を組み合わせた11両、あるいは最大15両の長編成が組成され、高崎線では平成13年(2001)まで、東北線では平成15年(2003)まで活躍しました。

小山電車区(現小山車両センター)に所属していた115系1000番台は、平成13年(2001)に開業した「湘南新宿ライン」でも300番台に混ざって運用に入り、短期間ですが横須賀線・大船まで乗り入れていました。
横須賀線は平成11年(1999)に113系の運転が終了して、新鋭E217系に車種を統一。1両片側3ドア車(113系)と4ドア車(E217系)の混合運転が解消されたばかりでした。
漸くプラットホームの乗車目標が4ドア車に統一されて僅かに2年、もう一度3ドア車が復活。しかも並走する東海道線(当時113系湘南色)と外観がそっくりとあって、沿線では驚きと、不思議な懐かしさをもって迎えられていました。
模型の世界でも、E231系やE217系と同じ線路での運転を楽しんではいかがでしょうか?

宇都宮線 直通

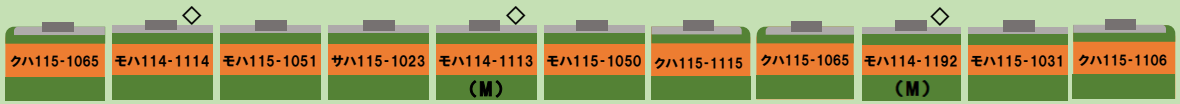
横須賀線 直通

新宿経由 小金井 FOR KOGANEI

新宿経由 大船 FOR OFUNA

## 115系1000番台湘南色

上野・大船・逗子 ←




→ 大宮・小金井・宇都宮

東ヤマ
定員114

小山電車区の115系が「湘南新宿ライン」の運用に入った時の編成は、必ずしも1000番台で統一されていませんでした。この編成は宇都宮線で運転されていた時のもので、参考です。